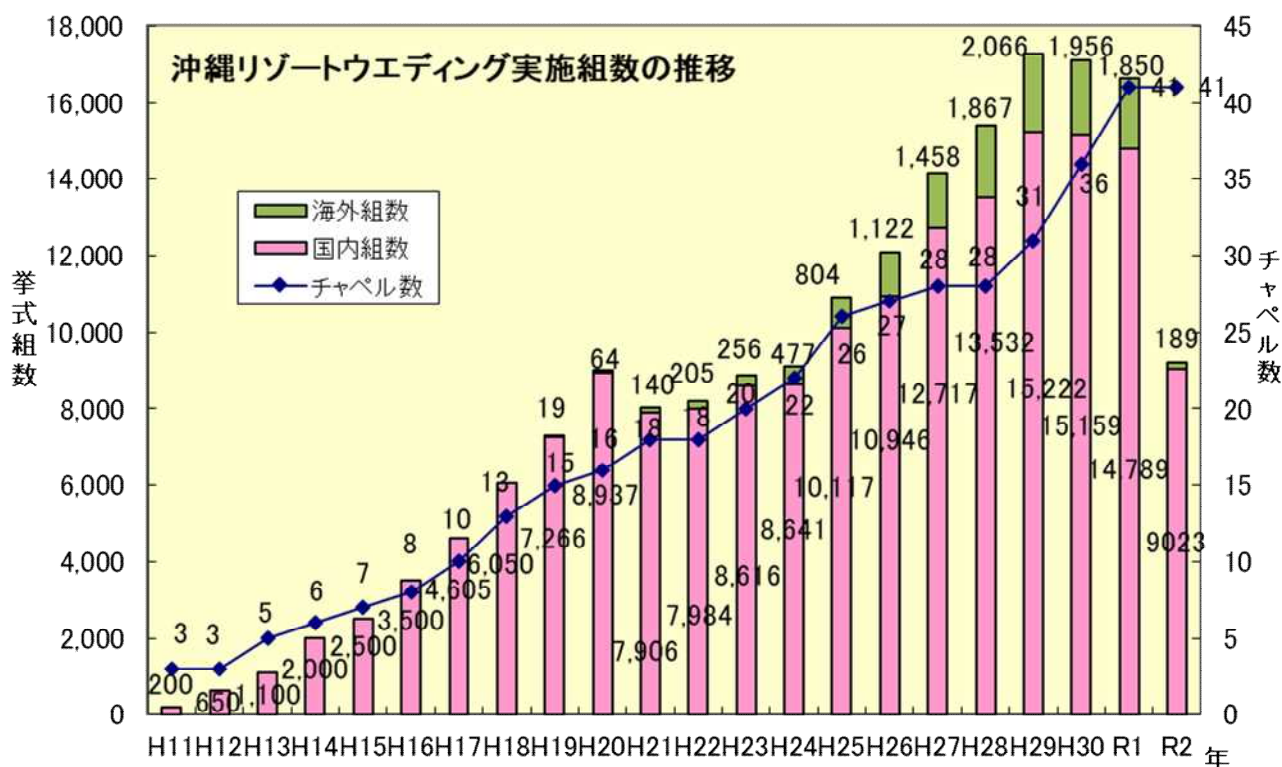




令和2年【年間】 沖縄リゾートウエディング 9,212組

☆☆令和2年【年間】結果☆☆

2020年1月～12月「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は、対前年比55.4%(7,427組減)の**9,212組**と昨年と比較し、減少となった。内訳は国内組数が対前年比61.0%(5,766組減)の9,023組、海外組数が対前年比10.2%(1,661組減)の189組となっている。



調査方法：沖縄リゾートウエディングを取り扱う県内関係企業66社を対象に調査を実施。このうち回答のあった45社の数値を集計。

1. 沖縄リゾートウエディングの定義

「沖縄リゾートウエディング」とは、県外及び海外に在住する新郎新婦が、沖縄でウエディングを挙げることを目的に来県し行うウエディングのこと。この調査では、チャペルウエディングだけではなく、フォトウエディングやビーチ・レストラン・琉装ウエディングなども調査対象に含めている。

2. 傾向

- ・令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による旅行の自粛、海外から日本への入国制限措置がとられたことによる外国客の減少等により総実施組数は、9,212組であった。国内組数が対前年比61.0%（5,766組減）の9,023組、海外組数が対前年比10.2%（1,661組減）の189組であった。国内・海外ともに組数は減少しており、減少比率は海外の方が高い。
- ・月別の実施組数では、前年を上回った月は1月、2月のみで、残りの月は前年を下回った。
- ・国の緊急事態宣言（4月7日～5月25日）及び沖縄県独自の緊急事態宣言（8月1日～8月29日）が発出されたことによる影響で、4月、5月、6月、8月は、実施組数が減少した。

（4月305組、5月17組、6月155組、8月425組）

- ・海外は、日本への入国制限措置がとられたこと等により大幅減となった。
 - 香港（前年比 14.1%） 108組
 - 台湾（前年比 7.1%） 45組
 - 中国（前年比 10.1%） 32組
 - 韓国（前年比 7.7%） 2組

1. 月別挙式状況

トップシーズン☆ 11月(1,887組)、10月(1,278組)、3月(1,160組)の順に多い。

ボトムシーズン★ 5月(17組)、6月(155組)、4月(305組)の順に少ない。

・前年を上回ったのは、1月、2月のみで、残りの月は前年を下回った。

2. ウエディングスタイルの状況

挙式割合：国内 55.7%、海外 84.7% フォト割合：国内 44.3%、海外 15.3%

(1) 挙式スタイルとしては、「チャペルウエディング」が最も人気で、全体の 52.5% を占めている。

(2) 挙式は挙げないが、沖縄の海や城跡などのロケーションで写真を撮る「フォトウエディング」は人気が高く、全体の 43.7% を占めている。

(3) また全体の約 4% と割合的には低いが、沖縄では以下のような挙式を実施できる。

○ホテルウエディング…ホテルのバンケットルーム等で行われる挙式

○ビーチウエディング…海を目の前にした絶好のロケーションで挙式

○レストランウエディング…沖縄の食材を使った料理を味わいながらカジュアルな雰囲気を楽しめる挙式

○琉装ウエディング…琉球王朝時代の正装をまとっての挙式

3. 市町村別挙式組数の状況

恩納村、読谷村、宮古島市、北谷町で全体の約 60% を占め、次いで、名護市、糸満市、宜野座村、石垣市の順で件数が多くなっている。

4. リーガルウエディングの実施状況

海外組数 189 組中 44 組 (23.3%) がリーガルウエディングを実施しており、前年と同様香港カップルの需要が高い。理由として、香港では、リーガルウエディングを挙げると本国で宣誓式を行う必要がないこと、各市町村で発行される婚姻届受理証明書が重宝されることが挙げられる。

実施された市町村は 8 市町村となっている。

恩納村が 12 組と最も多く、読谷村 11 組、宜野座村 9 組、名護市 4 組、那覇市 3 組、宜野湾市 2 組、本部町 2 組、竹富町 1 組の順となった。

※リーガルウエディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なる。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指す。

5. 引出物

国内を中心に、カタログギフトや琉球ガラス、バームクーヘン等の人気が高い。

6. 平均参列者数及び平均滞在日数

国内 平均参列者：13.0名（令和1年平均19.2名）

平均滞在日数：新郎新婦3.2日 / 参列者2.6日

海外 平均参列者：18.1名（令和1年平均27.5名）

平均滞在日数：新郎新婦4.3日 / 参列者4.0日

- ・新郎新婦は参列者よりも、国内で0.6日、海外で0.3日、滞在日数が高い。
- ・海外の新郎・新婦は、国内の新郎・新婦と比較して1.1日滞在日数が高い。
- ・海外の参列者は、国内の参列者と比較して1.4日滞在日数が高い。
- ・前年と比較して国内の平均参列者は6.2名、海外では9.4名減少している。

7. 推計来県者数

少なくとも**約8万7千名**の方がリゾートウエディングのために来県していると推計される。

《算出方法》

◎国内

①組数 9,023組（うち挙式 5,022組、フォト撮影のみ 4,001組）

②平均参列者数 13名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

$(5,022組 \times 15名(新郎新婦2名 + 平均参列者13名)) + 4,001組 \times (新郎新婦2名)$
 $\doteq 83,332名$

◎海外

①組数 189組（うち挙式 160組、フォト撮影のみ 29組）

②平均参列者数 18.1名（フォト撮影のみの場合は、参列者は0名と仮定）

$(160組 \times 20.1名(新郎新婦2名 + 平均参列者18.1名)) + 29組 \times (新郎新婦2名)$
 $\doteq 3,274名$

国内 83,332名 + 海外 3,274名 = 86,606名

8. 推計経済効果

リゾートウエディング顧客の県内消費額は、少なくとも約118億円

《算出方法》

◎国内

- ①組数 9,023 組（うち挙式 5,022 組、フォト撮影のみ 4,001 組）
- ②平均参列者数 13 名（フォト撮影のみの場合は、参列者は 0 名と仮定）
- ③平均費用額 挙式 52.7 万円、フォト撮影のみ 10 万円（オープン価格による平均値）
- ④国内ウエディング客一人当たりの観光消費額 100,347 円（R1 年度観光統計実態調査）
 $(5,022 \text{ 組} \times 52.7 \text{ 万円}) + (4,001 \text{ 組} \times 10 \text{ 万円}) + ((5,022 \text{ 組} \times 15 \text{ 名}) + (4,001 \text{ 組} \times 2 \text{ 名})) \times 100,347 \text{ 円} \approx \text{約} 114 \text{ 億円}$

◎海外

- ①組数 189 組（うち挙式 160 組、フォト撮影のみ 29 組）
- ②平均参列者数 18.1 名（フォト撮影のみの場合は、参列者は 0 名と仮定）
- ③平均費用額 挙式 37.9 万円、フォト撮影のみ 10 万円（オープン価格による平均値）
- ④海外客一人当たりの観光消費額〈空路〉 102,528 円（R1 年度外国人観光客実態調査）
 $(160 \text{ 組} \times 37.9 \text{ 万円}) + (29 \text{ 組} \times 10 \text{ 万円}) + ((160 \text{ 組} \times 20.1 \text{ 名}) + (29 \text{ 組} \times 2 \text{ 名})) \times 102,528 \text{ 円} \approx \text{約} 4 \text{ 億円}$

国内 約114億円 + 海外 約4億円 = 約118億円

➤ 令和2年度 沖縄県の取り組み

(1) ブランディング

- ①ブランド動画3本（プロポーズ編、結婚式編、バウ・リニューアル編）の制作及び情報発信
- ②キービジュアルの制作及び情報発信

(2) 国内プロモーション

- ①オンラインによるブライダルフェアの開催
- ②WEBによる情報配信

(3) 海外プロモーション

- ①台湾での個別販売会の実施
- ②WEB・SNSを活用したプロモーション

(3) 受入体制整備・県内周知等

- ①県・OCVB・市町村・観光協会・県内関係企業による「カップルアニバーサリーツアーリズム連絡会」を本島、宮古島、石垣島（オンライン）で開催

➤ 一般社団法人 沖縄リゾートウエディング協会の紹介

平成 23 年 4 月、沖縄リゾートウエディングの地位向上と発展を目的に、県内事業者がこれまで各自で行っていた誘致活動などを共同で行うため、ブライダル事業者を中心に「沖縄リゾートウエディング協会」が設立され、平成 25 年 8 月に正式に一般社団法人となる。現在の加入事業者は、令和 3 年 4 月 20 日現在、理事 10 社で会員企業は 108 社あり、以下の取組を実施している。

- ① WEB・フェア委員会・・・毎年 1 月に「沖縄リゾートウエディングフェア」を開催。交通広告等を実施。
- ② フォトコンテスト委員会・・・「沖縄リゾートウエディングフォトコンテスト」を開催し、あわせて沖縄リゾートウエディングのゲリラ撮影防止に関する声明文にて撮影許可申請を促し、遵守事業者を公開する等の取り組みを行う。
- ③ 人材育成委員会・・・フォトグラファーやヘアメイクなどの技術講習から、法務、危機管理、マネジメント研修等の研修を行う。
- ④ 宮古島支部委員会・・・宮古島の会員がロケ地の健全な利用促進を行い、ウエディングのお客様を歓迎する体制の基盤づくりを行う。
- ⑤ リゾートウエディングの日委員会・・・毎月 22 日（夫婦の日）にリゾートウエディングを実施するお客様を歓迎するセレモニーを開催。
- ⑥ 地域連携委員会・・・ロケ地や地域の特産品などの地域産業資源の活用推進を図る取り組みを行う。

本協会は「ふるさと名物事業 地域産業資源活用支援事業者」として中小企業庁から認定を受けている。

昨年度は、内閣府の沖縄型中核人材育成事業において「沖縄リゾートウエディング中核人材育成事業」と沖縄県の地域ビジネス育成強化事業「恩納村リゾートウエディング活用地場産業活性化事業」を実施している。

毎月の理事会、年 6 回の定例会（偶数月）を行い企業同士のマッチングを図る。

【沖縄リゾートウエディング協会に関する問い合わせ】

事務局：サンネット株式会社

〒900-0012 沖縄県那覇市泊 1-3-2 9 階

Tel 098-860-0670

E-mail info@tabi-wedding.com

WEB <http://www.tabi-wedding.com>

【統計調査についての問い合わせ】

沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課
観光振興課 誘致企画班

TEL：098-866-2764

FAX：098-866-2765